

コミュニティ・アーキテクト（近江環人）・私たちの決意

青谷 守

あおたに まもる



高島市職員

地域社会を取り巻く様々な課題・問題を多方面から整理・分析し、複合的な評価のもと、地域内での対応の総合化を図ることにより、地域再生を実現させる手法を本学座で学ぶことができました。地方分権下における地域の自立に向け、私の権責を果たす舞台であり、併せて生活の拠点である高島市において、経済主義に偏ったまちづくりではなく、大切な自然やつながりを守り育てながら、住み良く心豊かに過ごせる地域社会の実現に向け、地域力の結び目となるべく近江環人の職能を発揮していきたいと考えています。

笠原 啓史

かさらはら けいし



建築工房櫛（一級建築士）

私は、建築設計の仕事をしており、住宅や自然公園施設などの木の建築を主に設計しています。近江環人の講義では、地域の持つ特性や課題を見つけ出し環境と調和した循環型地域社会づくりのための実践的な手法を学ぶことができました。また、共に学んだ社会人受講生の方々や大学院生、先生方とのいい出会いがありました。建築に携わる者として、今回築いたネットワークを活かしながら、学座で学んだことをこれからの設計に活かし、さらに出来上がった建物が地域社会や環境にとって良い影響をあたえるような仕事をやっていく決意です。

田中 光一

たなか こういち



東近江市社会福祉協議会

地域再生には、地域の課題を分析・評価し、その解決に向けて、その地域独自の歴史、伝統、文化などを基盤としながら、失われつつある人、文化、自然のつながりを、今日の時代に合わせて再構築させ、人々の本来持っている力を回復させていくことが大切だと考えます。私は、近江環人として、地域の潜在能力や役割を再発見し、住民と一緒に歩みながら、この地域でいつまでも住み続けたいと思えるようなまちづくりに取り組んでいきたい。

辻村 琴美

つじむら ことみ



新江州株式会社

近江環人の称号を授けくださったことに感謝申し上げます。私の役目は、『住民の暮らし方や生き方を選択し実行するためのサポート』と、『ハウスホールドエコノミー（限界ある経済成長）に対応する持続可能な社会づくりの推進』と認識しています。"MOH通信"を通じて情報を共有化し仲間の輪を広げ、近江環人の活動を支援する"環人会"で、人と地域を愛する心を育みたいと思います。

藤原加奈子

ふじわら かなこ



かな設計工房（一級建築士）

この1年間で、滋賀県の歴史や風土・地球環境・地域再生などについて学ぶことができました。その中でこれらを独立したものと、とらえるのではなく、大きなひとつの課題として考えるべきだと強く感じました。私の業務である建築設計でもそれらのつながりを大切に、地域に調和したものをつくりたいです。また、この学座で、培ったネットワークと今後もつながりを持ち、情報交換や意見交換を行い、ともに地域づくりに貢献していきたいです。

藤原直樹

ふじわら なおき



滋賀県職員

私は建築の技術職員として滋賀県に勤めています。以前からまちづくりや環境問題に関心があり、機会に恵まれてこの「近江環人地域再生学座」を受講することができました。一年間、滋賀県内外でまちづくりを実践されている方々の話を伺ったり、環境に負荷を与えない技術にふれたりできました。私はまちづくりは地域に住んでおられる方々がその気になることが最も大事だと考えています。地域のやる気を支えて、地域の方が思い描く自分たちのまちを実現するお手伝いができるよう力を尽くしたいと思います。

謝 海燕

しゃ かいえん



上海角王環境工程諮詢有限公司

中国は今、近代化の一つの過程として、自然が破壊されていますが、いずれは、自然の大切さを感じる時代が来ると思います。その時、自然再生も含めて、講義で習ったことを中国でも生かしたいと思えます。ソフト面から、人々が心地よく生きて行けること、ハード面からは景観・環境・安全安心が備えた地域をつくりたいと思います。初代近江環人コミュニティ・アーキテクトとして、これから地域で何ができるのか、これからの実践が楽しみです。

亀山 芳香

かめやま よしか



滋賀県立大学大学院博士課程

保存修景を専門分野として、古民家・町なみ・景観などを調査・研究し、それらを保存・活用するための活動に取り組んでいる大学院生です。現在、コミュニティ・アーキテクトとして、二地域居住や移住を考えている都会の人たちを、滋賀県内の高齢化・過疎化の進んでいる農山村などに受け入れる仕組みづくりに携わり、古民家の活用による地域活性化を目指しています。そこから得られた課題や成果をもとに、研究論文として公開していきたいと思えます。